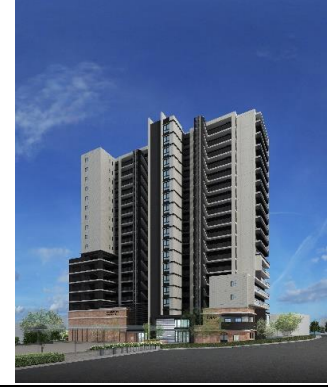


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)東川口駅前計画	階数	地上18F、地下2F
建設地	埼玉県川口市	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	485 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年12月 予定	評価の実施日	2021年4月1日
敷地面積	2,110 m ²	作成者	中川 敬一郎
建築面積	1,224 m ²	確認日	2021年4月1日
延床面積	15,289 m ²	確認者	中川 敬一郎



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.3

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 本建物は、東川口駅に面する場所に計画された、共同住宅、行政センター、交番の複合建築物である。敷地内には緑豊かな公開空地を設けて、自然環境の保全や創出に配慮した計画としている。		その他 特になし。
Q1 室内環境 ・開口部の遮音性能はT-2等級とし、居室の遮音性に配慮する。 ・各住居の窓は複層ガラスとし断熱効果を高めている。	Q2 サービス性能 ・劣化等級3を満足し、躯体の長寿命化に配慮する。 ・耐用年数の長い配管材料を採用し、配管材の長寿命化に配慮する。	Q3 室外環境(敷地内) ・屋上緑化を設けるとともに、敷地内に低、高木をバランス良く植栽し、生物環境の保全と創出に配慮する。
LR1 エネルギー ・共用部の照明は全てLEDを採用し、省エネルギーへ配慮する。	LR2 資源・マテリアル ・リサイクル材を採用し、資源の有効活用に配慮する。	LR3 敷地外環境 ・広告物照明は「光害対策ガイドライン」の過半を満たし公害対策に配慮する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)東川口駅前計画

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										3.3
Q1 室内環境							0.40		-	3.4
1 音環境						4.3	0.15	3.3	1.00	3.7
1.1 室内騒音レベル		<共用><事務所>目標騒音レベルは45dB以下。				4.0	0.48	3.0	0.50	
1.2 遮音						5.0	0.48	3.6	0.50	
1 開口部遮音性能		サッシ遮音等級はT-2。				5.0	0.92	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能		<事務所>Dr=50				5.0	0.08	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音						2.0	0.04	-	-	
2 温熱環境						2.0	0.35	4.0	1.00	3.2
2.1 室温制御						3.0	0.50	4.0	1.00	
1 室温		<住居>住宅性能評価における等級4。				3.0	0.57	-	-	
2 外皮性能						3.0	0.35	4.0	1.00	
3 ゾーン別制御性						3.0	0.08	-	-	
2.2 湿度制御						1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式						1.0	0.30	-	-	
3 光・視環境						3.0	0.25	4.0	1.00	3.6
3.1 昼光利用						3.0	0.30	4.0	0.50	
1 昼光率		<住居>昼光率は3.55%。				3.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口						-	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備						3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策						3.0	0.30	4.0	0.50	
1 昼光制御		<住居>カーテンと庇を組み合わせて制御。				3.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度						3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御						3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境						3.4	0.25	3.3	1.00	3.4
4.1 発生源対策						4.0	0.58	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		全面的にF☆☆☆☆及び規制対象外の建材を採用。				4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気						2.8	0.38	2.3	0.38	
1 換気量		<共用><事務所>建築基準法以上の換気量を確保。				4.0	0.47	3.0	0.33	
2 自然換気性能						1.0	0.07	1.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						2.0	0.47	3.0	0.33	
4.3 運用管理						1.0	0.04	-	-	
1 CO ₂ の監視						-	-	-	-	
2 喫煙の制御						1.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.3
1 機能性						3.1	0.40	3.8	1.00	3.5
1.1 機能性・使いやすさ						2.8	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性		<住居>Gbitクラスのブロードバンドが利用可能。				1.0	0.07	-	-	
2 高度情報通信設備対応						3.0	0.07	5.0	1.00	
3 バリアフリー計画						3.0	0.87	-	-	
1.2 心理性・快適性						3.2	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観		<事務所>天井高さ3m。				5.0	0.07	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		<事務所>休憩室及び自販機スペースを計画。				5.0	0.07	-	-	
3 内装計画						3.0	0.87	1.0	0.50	
1.3 維持管理						3.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		防汚性のある床材の採用、段差のない設計等。				4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保						3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						3.1	0.30	-	-	3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.3	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		住宅性能評価における劣化対策等級3。				5.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						2.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要な用途上位3種のうち、2種類にB以上を使用かつEは不使用。				5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						2.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						3.4	0.20	-	-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20	-	-	
3 電気設備						3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		耐震クラスはAクラス。				4.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		メタルと光の引込、引込の2ルート化、防潮板の設置。				4.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.2	0.30	3.1	1.00	3.1
3.1 空間のゆとり			4.6	0.06	3.2	0.50	
1	階高のゆとり	<事務所>階高は4.2m。<住居>階高は2.92m。	5.0	0.60	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	<事務所>壁長さ比率は0.26。	4.0	0.40	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.06	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.2	0.88	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	仕上げ材を痛めることなく通信配線の更新、修繕が可能。	5.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.3
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			4.0	0.30	-	-	4.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	公開空地や中間領域の計画、防犯カメラの設置等。	4.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	日影や緑地の形成による暑熱環境の緩和。	4.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.9
1 建物外皮の熱負荷抑制		住宅性能評価における等級4。	4.2	0.20	-	-	4.2
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = -	4.5	0.50	-	-	4.5
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	0.20	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			3.0	0.80	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護			2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.8	0.60	-	-	3.8
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		塩ビシート(階段等)・岩綿吸音板(執務室等)・タイル(風除室等)	5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上げ材の分別が容易な計画及びOAフロアの採用。	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.20	-	-	3.2
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.70	-	-	
1	消火剤	不活性ガス(CO2)消火設備を採用。	4.0	0.33	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		CO2排出率:80%	3.8	0.33	-	-	3.8
2 地域環境への配慮			2.9	0.33	-	-	2.9
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明:「光害対策ガイドライン」の過半を満足。	4.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県

重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	(仮称)東川口駅前計画	BEE	1.6	BEEランク	★★★★
------	-------------	-----	-----	--------	------

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
3.8	+	3.3	=	7.1	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上 	非常によい 6.8以上 	すばらしい 8.0以上 		

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	3.8
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.8
<配慮した内容を記述> LED照明を採用し、省エネルギーへ配慮する。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	3.3
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	3.0
Q3 室外環境(敷地内)	3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア	4.0
LR3 敷地外環境	2.2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
<配慮した内容を記述> 屋上緑化を設けるとともに、敷地内に低・高木をバランス良く植栽し、生物環境の保全と創出に配慮する。			

: 入力欄